

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 240 2012年 3月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

東海第2原発の廃炉をもとめる署名

土浦実行委員会統一行動

(2/25土浦駅 74筆、2/26コープ 139筆、3/11土浦駅 13:30~15:00)

さよなら原発4・1大集会 in いばらきの成功をめざす土浦実行委員会は「東海第2原発廃炉をもとめる署名」5,000筆を目標に統一行動を計画し、2月に2回、3月1回の統一行動をおこないました。

2月25日の土浦駅では小雨の中 12人が参加してハンドマイクや大判ポスターによる訴えをおこない74筆の署名が集まりました。

26日はコープつちうら店で11人が参加して137筆が集まりました。

大震災1周年に当たる3月11日は土浦駅において2度目の宣伝署名行動をおこない、大聖寺において鎮魂の鐘をつく予定になっています。

どなたでも参加できます。ぜひ多数のご参加を期待していますのでよろしくお願いします。



コープつちうら店における署名行動

2つ目の原発神話

原発の安全神話はみごとに打ち砕かれてしまいましたが、もう一つの神話「原発はコストが安い」がまったくのデタラメであることが判ってきました。夢のエネルギーと言われてきた「核燃サイクル計画」の挫折があります。青森県六ヶ所村の再処理工場は2兆2千億円もかけて20年も建設にかかっているにもかかわらずいまだに操業の見通しも立っていないといえます。

元経産省幹部でさえ「核燃サイクルは金がかかりすぎる。経産省内でも“おかしい”という空気が強かったが、結局政治の圧力に勝てなかった」と言います。使用済燃料を一部処理するだけで19兆円、全量を再処理すると43兆円かかると試算されています。

さらにこの燃料を使う予定の「高速増殖炉」も事故で運転停止中。撤退も考えられています。

使用済燃料の貯蔵場所の確保、最終処分方法も解決できていない現状で原発の再稼働は無謀というほかないのではないのでしょうか。いま“脱原発”が一番正しい選択ではないのでしょうか。

3・4日付“しんぶん赤旗日曜版“記事より

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

百里基地のたたかいが世界で注目されている その2

TBS「噂の東京マガジン」百里を取材

当日は、百里の梅沢さん夫婦にガイドを、宮沢さんにインタビューをお願いしてもらいました。基地に隣接している土地で農業を営んでいることの意味が充分理解されず、F4ファントムの飛び立つ爆音に驚いていた。梅沢さんからは基地の概要と平和について、宮沢さんのインタビューでは、農業で生活が成り立たず困窮を極めた時期の平和闘争のこと、憲法を守ることの大切さ、これからの運動のことなどが話されていました。

「渋谷のギャラリーは若者がいっぱい来ますので、必要な時は伊達さん、お出でいただけますか」にははたと困り、言葉をにごした。彼らが百里のたたかいを知ったのは、ロスタイムズ社の記事がインターネットで全世界に発信され、それを見た人が、さらに自分のブログ等で紹介し、それをキャッチしたというのだ。正にその伝播力ははかり知れない。

また、これを企画しているのは石原都知事が議会で追求されている、「知る人ぞ知る」若手芸術家を支援をしている財団、トーキョウ・ワンダー・サイトである。

もちろん、若手芸術家は都知事の問題など詳しく知る由もなく、我が芸術は関知せずという感じであった。ともかく百里闘争はますます広がる様相を呈している。(伊達)

昨年(2009)12月TBSのディレクターから百里基地を取材したいという電話があった。一昨年もTBSから取材の申し入れがあったが、その時は「百里に茨城空港を作る」話で全くふざけた内容だった。

今回は違うディレクターだが前回の事を話し、企画内容を聞いてから取材に応じる事にした。「噂の東京マガジンは25年間続いていて、その都度話題になっている問題を取り上げるトーク番組で、今回は茨城空港の税金のムダづかいについて取り上げたい」という。

「時間配分も1時間番組で百里関係は25分程度で森本毅朗他の出演者のトークが12分、百里基地現地の映像が13分程になる。それでこちらとしては百里空港年間81万人の利用者と廃止された鹿島鉄道銚田線の年間利用者80万人を関連づけて取り上げたい」という。また、何かいい取材テーマがあったら知恵を貸してほしいというので、国や県におどらされ、旧小川町商店街が活性化するなどと思込まされた人々の声と、地元活性化などと関係なく大企業がボロ儲けした話題を提供しました。

さらに20日百里に案内し基地の概要とたたかいの歴史・民間共用化などについて説明し、宮沢さん、梅沢ご夫婦、栗又さんを紹介させていただいた。暮れの28日と正月の6日に現地撮影して1月17日の日曜日午後1時から放映されました。内容は自衛隊基地の訓練・騒音から共用化問題・百里基地闘争・鹿島鉄道の話など、マスコミにはめずらしく素直に取り上げてくれました。

特に「くの字」の誘導路や茨城空港などはパネルにして解説され、百里の姿を知ってもらう上で大きな力になりました。

インタビューに応じてくれた4人の方々、ご苦労さまでした。(伊達)

平和かわら版555号 (2010、2、15)

活動ごよみ

2・24 第3回さよなら原発事務局会議
 2・25 原発署名(土浦駅ペDESTリアンデッキ)
 2・26 原発署名(コープつちうら店)

3・3 第3回さよなら原発実行委員会
 3・11 原発署名(土浦駅ペDESTリアンデッキ)
 3・13 平和の会理事会(14時 コープ)

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください